

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/07/10 Vol. 73 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 13 年第 2 回定例会報告 (4)

いつもお世話になっております。印西市議会(6月定例会)は、22日(金曜日)で閉会しました。今回も、6月議会での私の一般質問と市当局の回答を中心にご報告をさせていただきます。

今回から2回に分けて「青少年の自主的活動への積極的支援」についての私の質問/市の回答をご報告させていただきます。今回はその1として、ご報告いたします。

6/7(木曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

1. 青少年の自主的活動への積極的支援について

青少年がさまざまな自主的活動を行うためにはふさわしい場所や機会の提供が必要であると考えます。印西市ではどのように配慮し、支援を行っていくのか?

(ぐんじとしのりが考える「自主的活動」)

今の子供たちにとって...

一人一人が自分で動ける場所、考える場所はあるか?

他の世代と気軽にふれあえる場所の提供は充分か?

機会は提供できるか? ということです。

自らが考え、自発的に行動すること。例えば、自由に絵を書いたり、工作をしたり楽器をいじったり、時にはバンド活動をしたり、卓球をする、バスケットをする。跳び箱があったり、マットがあったり...。そして友人と語りあったり...

自分の責任で自由に遊ぶ。そして、自分達でできないことは大人が相談のり、協力する。特に中・高校生にとって難しいことは「時間」「場所」「お金(経済的援助)」「サポート」の確保ではないでしょうか?

遊べて、勉強できて、食べられて、こんなところ、ありませんか? 作れませんか?

(質問)

児童館の対象年齢はどの位までを想定しているのか?

中・高生を中心とした放課後の自主的活動場所はどこを想定しているのか?

(回答要旨/市長)

児童福祉法による児童の定義は、満18歳に満たないものとされ、児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設のひとつで、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにする事を目的とされております。平成12年8月に、核家族の進展や婦人の就労の増加等により、児童を取り巻く環境が大きく変化して、さらに出生率の低下、遊び場の不足、交通事故の増加等、家庭や地域における児童健全育成上憂慮すべき事態が進行しており、児童福祉の立場から緊急の課題となっていることに対処する為、児童館体系が見直され、市内にごございます中央児童館およびそうふけ児童館は、児童館体系によりますと、「小型児童館」に位置付けられ、「小型児童館」での主な指導の対象児童は、概ね3歳以上の幼児と、小学校3年以下の児童とされ、さらにこの改正で子育て家庭への支援を行うことが追加されたことに伴い、就学前の母子を対象に遊びを通して親子が触れ合う事業や年齢階層に応じた事業を実施しているところでございます。また、両館とも公民館等との複合施設」でございまして、児童館と公民館が協力して、中高生を含む各種講座等を実施

し、受講者数は少ないが徐々に児童館への中高校生の来館者は増加している状況でございます。ご質問の中高校生の活動場所につきましては、家庭あるいは、例えば地域でのスポーツ活動等への参加を想定しております。

(ぐんじとしのりからの市への意見 / 再質問 (市からの回答) 要望 - 概要)

私がお聞きしたかった内容には、来年より「学校週5日制」を迎えるにあたって印西市はどのように児童の育成にあたるつもりか？ということが含まれます。

現状、考えられるのは、塾か部活ではないでしょうか。部活でカバーするというのなら、先生方の負担は増加します。しかし、「管理をする」という面では部活でしるものがよいということでしょうか。市長の回答にもあったように運動が好きな子はスポーツ活動をすればいいが、「運動が苦手な子供は？」「屋内で遊ぶのが好きな子はどこに行けばいい？」「どうやって空いている時間を埋めようとするつもりか？」どう考えるのでしょうか？

私は児童館がふさわしい場所ではないかと考えています。

* (再質問) 中高校生を対象にした児童館の設置を印西市では検討しているか？
どのような設備が現状足りなく、今後いつ頃までに、どのようにこの問題を解決していくのか？

(回答 / 教育部長) 現在、予定はないが、先進地を見に行ったり、今後、検討して行く。

(「ぐんじとしのり」からの要望)

実際に都心では多くの中高生が活動できる場所を提供している自治体が多くある。

(例として申し上げたような場所は実際に「杉並区」に存在するし、「世田谷区」では、子どもにさまざまな遊びを保障する場として、「プレイパーク」が存在する。)

これからは、「生きる感覚が実感できる環境」、「その子なりに光り輝ける場所の用意」、

「興味を追求できる場・子どもの居場所づくり」が必要不可欠である。しっかり考えていただきたい。

応援しています

> 民主党 にしこおり淳 公式ホームページ <http://www.nisikoori.com> /

『改めるべきは誰か』(中坊公平 錦織淳 著 東洋経済新報社刊)

- 整理回収機構の大仕事を終え一弁護士に戻った中坊氏と、

島根の竹下王国に一人挑んだ硬派弁護士の熱血対談。 -

~にしこおり淳を知っていただく為に、お勧めしています。是非、ご購入ください。

このところ改革が叫ばれ、構造改革の議論が盛んです。その際、表層的なことではなく、もっと根本問題を考えることが大切なはずで、日本には足るを知ることが最も富むという、「知足最豊」という言葉があります。これがかつての日本人だったと思うのです。構造改革という以上、どういう構造からどういう構造へ変えるのか。前著『裁かれるのは誰か』以降の事実を踏まえつつ、錦織さんと考えてみました。 - 「はじめに」より

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会の報告を行って参りたいと思います。この紙面へのご批判、ご意見、また市政へのご提言をお待ちしております。よろしく願い申し上げます。

ぐんじとしのり